



▲ 新体制で頑張ります(平成30年5月2日)

かごしま

あいら

市議会だより

臨時号

平成30年5月31日発行



議会中継QRコード

新体制が始動！

2・3

初議会・各委員会の構成決まる

第1回定例会報告(3月議会) **政務活動費を制度化**

4

が始動!

初議会（第1回臨時会）

選挙後、初めての議会（第1回臨時会）を平成30年5月2日に開き、正副議長・監査委員・常任委員・議会運営委員などの選出を行い新体制が始動しました。また、3税条例の一部改正の専決処分を承認し、教育長・教育委員の任命について同意しました。

議長選挙

議長選挙は、2人の立候補者により選挙が行われました。

選挙の結果、同数となり、それにより、抽選で森川和美議員が選ばれました。

教育長の任命に同意

地方教育行政に関する法律改正により教育委員長と教育長を一本化し教育委員会を統括することになりました。



▲正副議長選挙の様も、ネット中継でご覧いただけます。

市長は、議会の同意を経たうえで教育長の任免を行います。

今回提案された小倉寛恒氏の任命に同意しました。（任期は3年）

3税条例の一部改正の専決処分を承認

- 市民税（賛成多数）
- 都市計画税（全会一致）
- 国民健康保険税（賛成多数）

※詳細は市HPで

森川 和美 議長



東馬場 弘 副議長



湯元 秀誠 議会運営委員長



融和と協調

議長 森川 和美

新緑の候、市民の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてより始良市議会に対しまして、格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今回4月22日の改選において24人の新議員が誕生しました。

5月2日の臨時会で、議長、副議長が選出され、議会運営委員会など各委員会の構成が決まりました。

大役に身の引き締まる思いであります。今後さらに、融和と協調、中立公正を保ち全員議会で始良市発展と、市民の福祉向上に全力を尽くす所存であります。

地方議会の機能は主に二つあると思います。

一つは、条例などのルールを定めること、予算など地域の重要案件に対する決定を行うこと。

二つ目は、行政の監視であります。議会が議決したことを確実に実行しているか、住民に公平にサービスを提供しているかを厳しく監視し、それを正す役目であります。

最後に市民の皆さまの様々な声に耳を傾け、市民の視点に立った政策立案や提言を行い議会改革もしっかりと進めてまいります。

新体制

文教厚生常任委員会



(上段右から)
 湯川 逸郎
 峯下 洋
 竹下日出志
 谷口 義文

(下段右から)
 堀 広子
 田口 幸一
 小山田邦弘
 有川 洋美

総務常任委員会



(上段右から)
 松元 卓也
 湯元 秀誠
 岩下陽太郎

(下段右から)
 東馬場 弘
 新福 愛子
 鈴木 俊二
 上村 親

議会選出監査委員

竹下日出志

湯元 秀誠
 和田 里志
 小山田邦弘
 鈴木 俊二
 谷口 義文
 東馬場 弘
 峯下 洋
 吉村 賢一

議会運営委員会

産業建設常任委員会



(上段右から)
 和田 里志
 湯之原一郎
 萩原 哲郎
 堂森 忠夫

(下段右から)
 国生 卓
 犬伏 浩幸
 吉村 賢一
 本村 良治

教育委員会

教育長 小倉 寛恒
 委員 中間 博英

選挙管理委員会委員

久保 洋幸
 榎園 洋子
 永吉 清美
 小倉 章

広報広聴特別委員会

委員長 峯下 洋

● 広報班

峯下 洋
 和田 里志
 新福 愛子
 竹下日出志
 湯之原一郎
 岩下陽太郎
 松元 卓也
 湯元 秀誠
 小山田邦弘
 萩原 哲郎
 有川 洋美
 犬伏 浩幸

● 広聴班

東馬場 弘
 堂森 忠夫
 国生 卓
 田口 幸一
 鈴木 俊二
 湯川 逸郎
 上村 親
 堀 広子
 吉村 賢一
 谷口 義文
 本村 良治

◎ 委員長

○ 副委員長

成長を維持し、未来につながる予算

＝なぜ、骨格予算が増額なのか なぜ、今、政務活動費なのか＝

一般会計当初予算可決！
289億2600万円

本会議、予算審査特別委員会ともに骨格予算の在り方が議論の中心になりました。

執行部は市長選挙が予定され、経常的経費及び政策的経費のうち、継続的な事業や事業の実施時期の関係から、当初の予算措置が必要な事業に係る経費を計上した、いわゆる『骨格予算』であるとの認識を示しました。

これに対し議会では、継続して推進するとした事業の中には政策的な事業があり、それらは一時保留し、補正予算とするべき事業もあつたのではないかと、骨格予算でありながら予算規模が小さくならないことに疑問を抱かざるを得ない。

○骨格予算が前年度を上回る規模で、基金繰入も対前年比42%増。基金取崩しは慎重にあるべきである。

などの議論が交わされ、

本市の成長を維持する一方で、扶助費の増大などの現実も踏まえる形で賛成多数により一般会計当初予算を可決しました。

議会による発議で政務活動費を制度化！

議会基本条例を皮切りに様々な改革を進めてきた本市議会は、この度、議会の総意を持って政務活動費を制度化しました。

併せて補正予算で30年度の政務活動費の予算化も行いました。

世間で話題になっていく政務活動費を「なぜ今の時期に」という疑問の声も多いと思います。議会の役割から見直し、



▲今に、未来につながるまちづくりを

本市議会はようやく提言や予算修正ができるまでになりました。今後は政策立案・提案が課題です。そのためには調査・研究を深め、それを市民に提起し、市民と一体となった政策の実現を図るための情報発信を強化する必要があります。政務活動費はそのための制度です。

一方で厳しい指摘があることも承知しています。このため、県内初の「完全後払い制」を導入しました。真つ当な政務活動と認められたものだけが後払いで給付されます。地方議会の未来スタンダードとなるこの制度に先鞭をつけてまいります。

お詫びと訂正

議会だより30号に誤りがありました。正しい内容は次のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。

(5ページ) 宇都トンネル整備

答弁 毎年、鹿児島市と年度協定を結んで実施しています。昨年度は、鹿児島市で発注して本市は負担金を支払うことになっていました。早急に完成を目指すために、双方から掘っていくことで合意しました。

傍聴席へどうぞ
車いす席もあります

第2回定例会は、
6月13日開会予定。

編集後記

今回の選挙に伴い新人議員4名中3名が広報班に加わりました。若さあふれる発想で頼もしい限りです。読者の皆さまにわかりやすく手にとって頂ける広報紙を目指しています。ご存じとは思いますが全て議員12名の手作りです。

29号より一般質問者の下にQRコードを添付してありますが如何でしょうか。ご意見ご感想がございましたら事務局までご連絡頂けると幸いです。

編集・発行責任者

議長 森川 和美